

科目名称	グローバル・プロジェクトⅡ				ビジネス・キャリア ( )	オフィス情報 ( )
英文科目名称	Global Project II				グローバル・コミュニケーション (必)	医療事務・医療秘書 ( )
科目コード	590125	授業形態	演習	単位数	2	
教員氏名	水島 孝司		年次配当	2年次	後期	ホテル・観光 ( ) 大学編入 ( )
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/>		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> ・無	
授業概要 及び授業方法	<p>この授業の主な目的は、受講生が将来働きたい企業、または自分が興味のある事業活動・社会貢献活動を行っている企業、NPO、学校などについてリサーチし、考察を加え、プレゼンテーションができるようになるのを支援することである。プレゼンは個人単位で行い、PowerPointを使ってもらう。主たる発表言語は日本語とする。取り上げる企業などについてのリサーチは、原則として授業外で行ってもらう。</p> <p>考察はグローバルな視点を交えて行うものとする。また、企業などの事業活動・社会貢献活動とSDGs (Sustainable Development Goalsの略語；持続可能な開発のために国連が定めた国際社会の目標) との関係についても調べ、考察してもらう。SDGsに挙げられた各種の目標・課題を「自分ごと」として捉えることができる当事者としての意識も涵養したい。</p> <p>学生が調べて発表した内容は、クラス全体でのディスカッションを通して深めていく。以上のような活動を通して、Think globally, act locally. (地球規模で考えて、足元から行動する) を実践できる人材を養成したい。</p>					
関連する科目	グローバル・プロジェクトⅠ				卒業認定(学習成果)との関連	①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション (授業の進め方、評価方法の説明)</li> <li>2. 最終成果物の確認 (先輩のプレゼンテーションなどから学ぶ)</li> <li>3. 教科書 (第1章 SDGsとは) 問題意識を持っていることについてのアイデア出し</li> <li>4. 教科書 (第5章 女性活躍) 問題意識を持っていることについてのアイデア出し</li> <li>5. 教科書 (第5章 持続可能な消費) 問題意識を持っていることについてのアイデア出し</li> <li>6. 教科書 (第5章 海洋プラスチックごみ) 問題意識を持っていることについてのアイデア出し</li> <li>7. 外部講師によるSDGsに関連した講義 (1回目)</li> <li>8. プレゼンリハーサル1回目 (学生A～E)</li> <li>9. プレゼンリハーサル1回目 (学生F～J)</li> <li>10. プレゼンリハーサル1回目へのフィードバック、良い発表の特徴</li> <li>11. プレゼンリハーサル2回目 (学生A～E)</li> <li>12. プレゼンリハーサル2回目 (学生F～J)</li> <li>13. 外部講師によるSDGsに関連した講義 (2回目)</li> <li>14. プレゼン本番1回目 (学生A～E)</li> <li>15. プレゼン本番2回目 (学生F～J)</li> </ol>					
授業時間外の 学 習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が将来働きたい、または自分が興味のある事業活動・社会貢献活動を行っている企業などについてリサーチし、考察する。</li> <li>・自分が将来働きたい、または自分が興味のある事業活動・社会貢献活動を行っている企業などについてのプレゼン資料を作成し、発表練習を行う。</li> <li>・教科書の担当箇所の発表準備をする。</li> <li>(学習に係る標準時間は週約2時間)</li> </ul>					
授 業 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が将来働きたい、または自分が興味のある事業活動・社会貢献活動を行っている企業などについて、5分程度のプレゼンテーションができる。</li> <li>・プレゼンで取り上げる内容をグローバルな視点を交えて考察することができる。</li> <li>・SDGsに関する基礎的な知識を身につけて、人に説明することができる。</li> <li>・他の受講生のプレゼンを聞いて、多様なものの見方・考え方を身につけることができる。</li> <li>・明瞭かつ論理的な日本語表現スキルを身につけることができる。</li> </ul>					
課題に対する フィードバック	教科書担当箇所や個人プレゼンスライドについてコメントしたり、読みあげ原稿を添削する。				評価方法・基準	プレゼンテーション(50点)、教科書担当箇所発表(10点)、小テスト(10点)、参加度(20点)、自己評価(10点)
テ キ ス ト	『SDGs入門』(村上 芽ほか、2019年、日経BP)					
参 考 書	随時、授業で紹介する。					
備 考						

